

山梨県立 考古博物館だより

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak/>

NO. 66

発行 山梨県立考古博物館
発行日 平成 20 年 9 月 26 日

〒 400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
TEL 055-266-3881 (代) FAX 055-266-3882



第26回特別展 埋められた財宝 大形装飾土器、銅鐸、そして埋蔵金



歴代の財宝は、
なぜ、惜しげもなく埋められたのか。

10月1日(水)～11月24日(月)

写真 左：和歌山県みなべ町出土銅鐸（東京国立博物館所蔵） 右：甲州市安道寺遺跡出土大形装飾土器
Image:TNM Image Archives Source:<http://TnmArchives.jp/>

ごあいさつ

考古博物館は今年で創立 26 年目を迎えます。県内外より多くの方にご来館いただき、8 月末には 1,162,000 人を数えました。これも一重に県民の皆様方をはじめ関係各位のご協力があったからこそ達したものと、改めて感謝しております。

さて、今年もいよいよ特別展が始まります。今年のテーマは、「埋められた財宝」です。古代人が埋めたであろう財宝（大形装飾土器・銅鐸・金貨など）約 330 点を展示し、埋納儀礼の様子を復元して、当時の社会の奥深い部分を垣間見る試みを行いたいと思います。是非、ご覧ください。

なお、私は 4 月の人事異動により当館 5 代目館長に就任致しました。これまでの先輩方が残した功績は大変大きく、責任重大であります。博物館としての役割を果たし、広く県民の皆様方に古代文化に親しんでいただけるよう、精一杯努力して参る所存であります。今後とも一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成 20 年 9 月

山梨県立考古博物館 館長 藤原 克己

第26回特別展

「埋められた財宝」

～大形装飾土器、銅鐸、そして埋蔵金～



国宝・加茂岩倉遺跡銅鐸群（うち5点を展示）
（島根県立古代出雲歴史博物館所蔵）

今回の展示で最も注目する点は、これらの財宝がおしげもなく埋められている点です。巨大土器は、打ち割られ、破片を重ねて埋められていました。銅鐸は横にしてひれを立てて埋められていました。この異様ともいべき埋め方＝埋納法に注目したいと思います。

列島のそれぞれの時代を象徴する財宝が、埋められた状態で発見されることがあります。例えば、縄文時代の巨大土器や、弥生時代の銅鐸、そして中世には金貨などがあげられます。

今回の特別展では、「埋められた財宝」と題して、歴代の財宝が、どのように作られたかを復元し、それらがいかに各時代の最高の技術力で作られた逸品であるか、また人々の心を結集した財宝であるかを展示します。

今回の展示で最も注目する点は、これらの財宝がおしげもなく埋められている点です。巨大土器は、打ち割られ、破片を重ねて埋められていました。銅鐸は横にしてひれを立てて埋められていました。この異様ともいべき埋め方＝埋納法に注目したいと思います。

そして、その社会が至上のものとしてカミに捧げ、あるいはそれが秘めた強大な力を封じたであろう埋納行為を取り上げ、儀礼の様子を復元します。そうすることによって、人々の思想や精神を考察するとともに、社会の奥深い部分に迫りたいと思います。



▲大形装飾土器の出土状況（北杜市甲ッ原遺跡）

1 埋納行為のはじまり

縄文時代草創期にはじまるとされる、埋納行為を概観します。

- ・福井県鳴鹿山鹿遺跡
有舌尖頭器（重要文化財）
- ・神取遺跡（北杜市）有舌尖頭器 など
福井県鳴鹿山鹿遺跡有舌尖頭器▶
（野澤英毅氏所蔵）



2 縄文の至宝と埋納

縄文文化の中心である山梨の出土品を埋納という視点で見直します。土坑に埋納された土器や石器、土器と一緒に埋納された石器や原石などをとおして、縄文社会を概観します。

- ・安道寺遺跡（甲州市）大形装飾土器
- ・一の沢遺跡（笛吹市）大形装飾土器（重要文化財）
- ・甲ッ原遺跡（北杜市）大形装飾土器 など

3 銅鐸埋納

銅鐸は、山梨県内はおろか山梨以東の地域では出土例がありません。しかし、銅鐸は弥生時代を代表する至宝のひとつであり各種教科書にも紹介されていることから、この機会に実物を展示し、その特徴的な埋納行為を含めて銅鐸の社会的意味を探ります。

- ・島根県加茂岩倉遺跡銅鐸（国宝）
- ・兵庫県豊岡市出土銅鐸（重要文化財）
- ・大阪府東奈良遺跡銅鐸鑄型（重要文化財） など



▲徳島市名東遺跡銅鐸出土状況
（徳島市立考古資料館所蔵）

4 カミとの交信記録

古墳時代の祭祀遺構を取り上げ、カミに捧げられた貢献物を探ります。

- ・大蔵経寺前遺跡（笛吹市）
石製模造品
- ・大原遺跡（笛吹市）
土師器（ミニチュア土器）



大蔵経寺前遺跡石製模造品▲
（笛吹市教育委員会所蔵）

5 大地の霊の鎮めと七宝

古代以降、巨大建造物の建造にあたり、地鎮祭と埋納行為が行われるようになりました。ここでは鎮壇具にこめられた祈りの意味を解明します。

- ・奈良県東大寺大仏殿鎮壇具（国宝）
- ・寺本古代寺院跡（笛吹市）出土品
- ・武田氏館跡（甲府市）地鎮具 など

6 黄金を埋める中世社会

貨幣制度の変遷と、現代社会では価値の高い黄金をなぜ、埋めてしまうか、その社会的背景を考え、中世の世界観を復元します。

- ・笛吹市春日居町下岩下出土金貨
- ・北杜市高根町村山西割出土金貨
- ・小和田遺跡（北杜市）出土銭貨 など

笛吹市春日居町下岩下出土の金貨▶
（東京国立博物館所蔵）



Image:TNM Image Archives Source:http://TnmArchives.jp/

国宝26点・重要文化財30点を含む330点を展示します!!

特別展関連イベント

- 10月12日（日）「春風亭昇太 in 考古博物館」（考古博物館協会の25周年事業）
午前の部 11:00 開場 11:30 開演 / 午後の部 13:00 開場 13:30 開演
チケット 1,500 円 会場 当館エントランスホール
チケットは、県民文化ホール、岡島百貨店、山交百貨店、ざぶとん亭で発売中
 - 10月13日（月）「一尺八・シンセサイザー・銅鐸による—ジェントル・ブリーズ・コンサート」
14:00 開演 会場 当館エントランスホール
 - 10月19日（日）第38回史跡文化財セミナー「『埋められた財宝』展と風土記の丘」
 - 10月26日（日）特別講演「古代の鎮壇具」
 - 11月 2日（日）特別講演「縄文時代の埋納行為」
 - 11月 9日（日）特別講演「銅鐸の世界」
- いずれも 13:30 ~ 15:00 会場 風土記の丘研修センター

第26回特別展「埋められた財宝～大形装飾土器、銅鐸、そして埋蔵金～」概要

開催期間…10月1日（水）～11月24日（月）

期間中は休まず開館します。

観覧時間…午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

観覧料…一般・大学生 600（480）円

小・中・高校生 300（240）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

★共通観覧券（特別展＋常設展）あります。

一般・大学生 640円

小・中・高校生 320円

お問い合わせ…山梨県立考古博物館

電話055（266）3881

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak/>



レポート

今年も考古博物館で楽しく古代を体感! 第20回 風土記の丘こどもまつり

初夏の青空のもと、毎年恒例のこどもまつりは20回を迎え、5月4・5日に風土記の丘研修センターを中心に開催しました。3,000人を超える方にさまざまなアトラクションで古代を体感していただきました。



内容 (アトラクション)

「古代の火起こし体験」…古代の人々の火起こしを体験、「ペーパークラフト」…歴史に関するペーパークラフトにチャレンジ!、「狩猟体験」…弓矢で獲物(的)を仕留める!、「勾玉作り」…古墳時代の勾玉をモデルに作る、「トンボ玉作り」…古代の装身具作りに挑戦、「原始古代の味」…美味!鹿肉の燻製・雑穀スープ・黒米ごはん、「縄文太鼓をたたいて踊ろう!」…特別出演『JOMON DOKI DRUM BAND 森の精霊』と一緒に踊る♪、「史跡クイズウォークラリー」…クイズに答えながら風土記の丘を散策 など

小・中学生親子のものづくり教室

チャレンジ博物館

■弥生時代の矢じりをつくろう (5月25日)

金の尾遺跡(甲斐市)からみつかった弥生時代の磨製石鏃せきぞくをモデルに砥石で削って加工して矢じりを作りました。竹に鳥の羽(矢羽)と矢じりを取り付け、矢が完成しました。みなさん自分の作った矢の出来映えに満足そうでした。

■縄文時代のアクセサリをつくろう (6月8日)

滑石を使ったけつ状耳飾りづくりに挑戦しました。

■親子で縄文土器をつくろう (7月20・26・27・8月10日)

粘土を練り、当館の縄文土器を見本にしながらいちどおりに形を作り、野焼きで焼きあげました。

※ものづくり教室は、まだまだ開催いたします。ご案内は6ページをご覧ください。



大人のものづくり教室

原始古代の技に学ぶ

■勾玉とガラス小玉作り(4月19日)

■縄文土器作り(5月10・17・31日)

■トンボ玉作り(6月7日)

古代の装身具であるトンボ玉を常設展示室の古墳時代のガラス玉を見学後、製作しました。参加者は、「こんな綺麗なガラス玉が古代にもあったのか」と興味津々。製作では慣れない作業でしたが、古代の人は、どのような方法で、どんな思いで作っていたのかと古代に思いを馳せながら、トンボ玉を作りました。

■煉香作り(7月19日)

沈香など9種の香料を調合して煉り合わせ、オリジナルの煉香を作りました。



夏休みフリーパスポートイベント



夏休みの期間7月19日から8月31日まで夏休みフリーパスポートイベントを開催しました(フリーパスポートを持参すると県内の小中学生は観覧無料)。700人を越えるたくさんの児童・生徒さんに「トンボ玉をつくろう」、「古代の火起こし」、「勾玉をつくろう」、「土器の拓本カードをつくろう」に参加してもらいました。みなさん、縄文土器や古代のアクセサリ、昔の火起こしなどに大変興味を持ち、リピーターのお子さんも現れるほどの賑わいでした。



トンボ玉と勾玉を合わせてネックレスに。ステキ!



縄文土器の破片に和紙をくんで墨をつけて…模様を写し取るよ。



縄文土器と比べると…そっくり? 同じ? 模様が綺麗に取れた! 1つしかないおりに。

四角い滑石から、削って勾玉の形に。1時間以上も削ったり、磨いたり、最後は手触りがツルツルに。

史跡文化財セミナー

県内の史跡を歩いて探訪する史跡文化財セミナーは、小学生（保護者同伴）から一般の方々までを対象としています。発掘調査担当者など、その地域の第一人者を講師にお招きし、6km前後を歩きました。

今年度は「路ーみち」をテーマに実施しました。

第35回「風土記の丘と中道往還」 4月6日（日）

○「山梨の遺跡展 2008」の観覧，東山北遺跡，東山南遺跡，上の平遺跡，立石遺跡など

第36回「川田町と旧甲州街道」 6月1日（日）

○桜井畑遺跡，川田館，川田瓦窯跡，光福寺，東禅寺，遣還禅院など

第37回「旧櫛形町と西郡路」 8月3日（日）

○椿城跡，物見塚古墳，塚原上村古墳，鋳物師屋遺跡，妙了寺，六科丘古墳など



▲三ツ俣について熱心に説明する平塚先生（第36回）

考古学講座



今年度のテーマは「財宝埋納の考古学」。

遺跡の発掘調査を行うと、各時代を通じてさまざまな道具が出土しますが、それらの中には、当時の最高の技術で作られ、時代を象徴するような「財宝」が、埋め納められた状態で発見されることがしばしばあります。そこで今回は、4名の先生方をお招きし、出土した財宝から、儀礼や背景にある人々の思想、精神、そして社会について学びました。

- | | |
|------------------------|----------|
| 第1回 「縄文時代の祭祀と埋納行為」 | 6月 8日（日） |
| 第2回 「石・土製模造品と埋納行為」 | 6月22日（日） |
| 第3回 「埋納行為にみる古代のマツリと儀礼」 | 7月27日（日） |
| 第4回 「中世の黄金埋納」 | 8月17日（日） |

～春・夏の企画展から～

○春季企画展「甲斐の前方後円墳」～その出現から消滅まで～

4月26日（土）～6月29日（日）

平成16年度の発掘調査で国指定史跡甲斐銚子塚古墳（甲府市）から出土した木柱などを展示しました。期間中7,173名の方にご来館頂きました。

○夏季企画展「縄文時代草創期・早期・前期の出土品」

7月19日（土）～9月7日（日）

常設展では数少ない縄文時代前半の土器や石器を中心に約380点を展示しました。



職場体験・インターンシップの受入を行っています

当館では、毎年中学生の職場体験学習および高校生のジュニアインターンシップの受入を積極的に行っています。今年度は、7月7日～8日に身延町立中富中学校の生徒2名が、7月23日～25日には、県立白根高校の2年生5名が来館し、体験をしました。

○体験のおもな内容（期間に応じて内容が変わります）

- ・博物館と学芸員について（講義）
- ・常設展の概要（見学）
- ・教育普及活動（勾玉作り・火起こし体験）の実際
- ・土器の拓本・発掘体験*など

※県埋蔵文化財センターにご協力頂いています。

来館した子どもさんに土器の拓本を丁寧に教える白根高校の生徒さん▶



イベントのご案内（10月～3月）

土曜日開催

原始古代の技に学ぶ（一般）

*教材費が必要となります。

■勾玉とガラス小玉作り【10月4日】

古墳時代のものをモデルに勾玉とガラスの小玉を作ります。

■青銅器作り【10月11・18日】

鋳型を作り、青銅を流して青銅器を作ります。

■国宝・重文の土偶作り【11月8・22日】

長野県茅野市棚畑遺跡の国宝縄文のヴィーナスをモデルに土偶を作ります。

■煉香作り【12月6日】

古代から伝わるお香を作ります。

■草木染めと原始機織り【12月13・20・21日】

草木染めで毛糸を染め、マフラーを織ります。

■トンボ玉作り【1月10日/3月14日】

古代の装身具であるトンボ玉（ガラス玉）を作ります。

■縄文土器作り【1月31日・2月7・8・21日】

上級者対象の縄文土器作りです。

日曜日開催

チャレンジ博物館（小・中学生親子）

*無料

■縄文時代の土偶をつくろう【10月12日】

笛吹市一の沢遺跡出土の土偶をモデルにつくります。

■弥生時代の石ぼうちょうをつくろう【11月16日】

石包丁をつくり、当時の稲刈りを体験します。

*この他に12月7日、3月15日にもイベントを予定しています。



どなたでも

■**県民の日イベント** 11月20日（木）→県民の日はすべての方が特別展・常設展が無料になります。

■**第39回史跡文化財セミナー「古代一宮と鎌倉往還」** 12月7日（日）→笛吹市一宮町の史跡を巡ります。

■**新年干支展** 平成21年1月2日（金）～2月1日（日）→丑（ウシ）年にちなんだ収蔵品をエントランスホールに展示します。

■**古代のもちつき** 1月2・3日（金・土）→弥生時代の木製品をモデルに作った竝杖でお餅をつきます。

■**第6回わたしたちの研究室展示会** 1月25日（日）～2月22日（日）→考古学や周辺の諸科学に関係した小・中学生の研究成果を展示します。

■**風土記の丘望見展** 2月1日（日）～3月22日（日）

■**山梨の遺跡展2009** 3月14日（土）～4月5日（日）→最新の発掘調査の成果をお知らせします。

※特別展開連行事は3ページをご覧ください。

※イベントの詳細はホームページに随時掲載していきます。また、お電話でお気軽にお問い合わせください。

※申し込みが必要なものは開催日の1ヶ月前からお申し込みを受け付けます。

モニター・DVD デッキ（考古博物館協力会）

「山梨歴史ロマン」録画DVD（株式会社日本ネットワークサービス）

を寄贈していただきました。

山梨県立考古博物館協力会は、考古博物館のサポーターである考古博物館協力員の会です。現在、約80名の協力員の方がいらっしゃいます。日頃から博物館のさまざまな事業をサポートしていただいたり、ミュージアムショップの運営も行っています。また協力員の方には、随時研修を行い、山梨の考古学や歴史に理解や関心を深めていただいております。考古博物館には協力会はなくてはならない存在となっています。

その協力会が今年、昭和58年（1983）2月の発足から数えて25周年となりました。創立25周年記念として、モニターとDVDデッキを寄贈いただくことになり、7月24日に贈呈式を行いました。

同時に甲府CATV（株式会社日本ネットワークサービス）と共同製作をしたテレビ番組「山梨歴史ロマン」の録画DVDを甲府CATV様から贈呈していただきました。「山梨歴史ロマン」は、考古博物館の紹介や収蔵品を紹介した番組です。番組制作には多大なご尽力をいただきました。この番組は、4月から甲府CATVで放映されております。

考古博物館ではモニターとDVDデッキを学習・閲覧コーナーへ設置し、番組を来館者のみなさんに見ただけになりました。

52型（約縦65cm、横125cm）という大画面で素晴らしい番組を多くの方に見ただけいただければと思っております。



考古博物館協力会 <http://www.y-kyouryokukai.jp/>

歩いて学んで体験する

○考古博物館および周辺古墳の説明メニュー

当館のおすすめコース

○考古博物館見学…展示室充実コース 40～60分(50名程度)
エントランスホールにて概略を説明後、職員が先導して詳細説明を行います。

○古墳見学 …現地同行概略コース 30～40分^{※1}(50名程度)
古墳現地まで職員が同行し、古墳の概略説明を行います。

*上記以外のコースについては、風土記の丘研修センター^{※2}までお問い合わせいただくか、考古博物館ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak/>

*見学する人数に応じて、コースを選択・設定することができます。

学校・団体用



○原始・古代の技術体験学習メニュー ^{※3}

区	分	所要時間	内 容 等	人数等	教材費	
古代の火起こし	I	まいぎり式	約 40～60分	古代の火起こしの概要説明とまいぎり式火起こしを体験します。1グループ(4～6名)に1組の発火具で、時間内に交代で体験します。 ※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です)	130名まで	—
	II	まいぎり式その他、火打ち式等の体験	約 60～80分	原始から近世までの火起こしに関する詳細説明と主にまいぎり式を用いた火起こしを体験します。もみぎり式やひもぎり式、弓ぎりや火打ち式等の火起こし体験も可能です。 ※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です)	30名まで	—
まが玉作り	滑石 (20×10×30mm)	約 80～90分	砥石や紙ヤスリで削ってまが玉を作ります。時間の制約上、製作途中で持ち帰り自宅や学校で仕上げることもできます。 ※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です)	72名まで	1人 120円	
最古の編み物	編布(アンギン)	約 90分	編布(アンギン)は、カラムシやミヤマイラクサ、麻などからとった植物繊維を素材とする日本最古の布で、各地の縄文時代の遺跡から発掘されています。当館では「越後アンギン」にならない専用の編布台を使って、麻ヒモでコースターを作ります。 ※小学校5年生以上	30名まで	—	
縄文の土鈴作り	1週間ほど乾燥させた後、野焼きで焼成させます。	約 20～60分	一人約50gの粘土で球形の土鈴を製作します。半球形のを二つ作り、中に粘土の粒を数個入れつなぎ合わせます。表面をきれいにし文様を入れます。 ※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です) ※宅配便でのお送りが可能です(送料等は別途学校負担)。	50名まで	1人 50円	

※1 博物館からの往復の時間は除きます。(博物館～銚子塚古墳の往復は20分～30分とお考えください。)

※2 小・中学校、高等学校等の見学・体験のお申し込みは、TEL055-266-5286(風土記の丘研修センター)へ
小・中学校、高等学校等以外の団体で見学のみ場合は、TEL055-266-3881(考古博物館)へお願いします。

※3 体験学習は、考古博物館見学校に限ります。

*考古博物館(古墳)から風土記の丘研修センターへは、遊歩道が設けられています。(20～25分程度かかります。)

○古代衣装レプリカ教材貸出

博物館では、学校向けに古代衣装の貸し出しを行っています!!

- 種類 ☆弥生時代や古墳時代の服(貫頭衣)
☆古墳時代の豪族や武人の服(胡服)
☆まじないや祭祀をつかさどった巫女の服
☆高松塚古墳の壁画に描かれた女官の服
☆高松塚古墳の壁画に描かれた官吏の服

※上記の衣装をそれぞれ3着用意してあります。

実際に手に取り着用することによって、歴史を身近に感じ、古代人の生活の一端をイメージして膨らませることにより、学習の機会を広げてください。

古代衣装貸出のお申し込みは

TEL 055-266-3881(考古博物館まで)

研究成果の募集 第6回わたしたちの研究室

夏休みの自由研究や選択社会、総合的な学習の時間など、児童・生徒の研究作品を募集しています。

この事業は、小・中学生のみなさんが考古学や歴史の楽しさを知り、興味を持つ機会とするために実施しております。優秀作品を表彰する他、応募いただいた研究成果すべてを公開・展示いたします。

内 容	山梨県の考古学や周辺諸科学に関係した研究成果
対 象	県内の小・中学生（個人やグループ、学級・学年・学校単位）
部 門	個人研究部門 児童・生徒個人がそれぞれ自由なテーマで、または教育課程において統一したテーマで取り組んだ研究及び個人作品 団体研究部門Ⅰ（グループ対象） 2人以上のグループで統一したテーマで共同研究した成果及び作品 団体研究部門Ⅱ（学級・学年・学校単位） 学級・学年・学校で統一したテーマのもとで研究した児童・生徒個人の成果を取りまとめたもの、またはその指導過程
表 彰	3つの部門それぞれ 最優秀賞（教育委員長賞）1名、優秀賞（教育長賞）2名 努力賞（県考古学協会賞）若干名、 奨励賞（館長賞）若干名
応募規定	①学校で取りまとめて郵送もしくはご持参ください。 ②研究成果（作品）の表紙には学校名・学年・氏名・ふりがな・テーマを記載してください。 ③申し込み時に「参加申込書」(様式1)と「展示用解説書」(様式2、団体部門Ⅱのみ)をご提出ください。 ④未発表のものであれば過去（概ね1年以内）に研究した成果でも応募可とします。
応募期間	平成20年9月2日(火)～11月30日(日)
表 彰 式	平成21年1月24日(土)
発 表 会	平成21年1月24日(土)
展 示 会	平成21年1月25日(日)～2月22日(日)

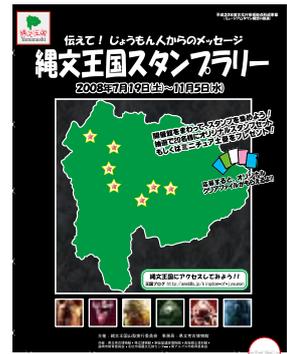
「伝えて！じょうもん入からのメッセージ」 スタンプラリー・ イラストコンテスト開催中!!

☆11月5日(水)まで☆

縄文王国山梨実行委員会（山梨県内の7館の博物館・資料館で構成）では、スタンプラリーとイラストコンテストを開催中です。



スタンプラリーは各館をまわってスタンプを集めると特製クリアファイルがもらえます。また、イラストコンテストは小学生が対象となります。各館の展示を参考にして、描いた縄文時代のイラスト（動物や植物など+ものがたり）を募集中です。コンテストで優秀賞に輝



いた方のイラストは各館で押すスタンプになります。みなさんも縄文人からのメッセージを今に伝える「じょうもんメッセンジャー」になりませんか？

※詳しいことは、考古博物館までお問い合わせください。
縄文王国山梨 <http://ameblo.jp/kingdom-of-jyomon/>

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで
休 館 日 毎週月曜日（祝祭日・振替休日を除く）
祝日の翌日（日曜日・祝日を除く）
12月29日～1月1日

※次の場合観覧料が免除になります

- ・65才以上の方（ただし、特別展は県外の方を除く）
- ・障害者手帳をお持ちの方
- ・毎週土曜日の小・中・高校生
- ・県民の日（11月20日）
- ・県内の学校の教育課程での見学（下記参照）

県内の学校の利用と観覧料免除について

- ・教育課程（県内の小・中・高・特別支援学校）で入館される場合は観覧料が免除になります。
- ・見学予定日の10日くらい前までに、観覧料免除申請書を提出してください。
- ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。

学校見学の申し込みと問い合わせ先
055(266)5286 風土記の丘研修センター

交 通

- 路線バスの利用
 - ・甲府駅より豊富行（中道橋経由）-「県立考古博物館前」下車
 - ・甲府駅より市立甲府病院行-市立甲府病院で下車乗り換え・市営バス古閑町行-「風土記の丘農産物直売所」下車
- 自家用車の利用
中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）
12月29日から1月3日

